

令和7年6月25日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）高校における被爆証言を聞く機会の充実について

被爆者の高齢化が進み、被爆体験の継承が課題となる中、高校生が被爆証言に触れることの重要性についてどのように認識し、今後どのように推進していくのか、教育長に伺う。

（答）

人類史上初の被爆地である広島で、将来を担う若い世代が、被爆証言をお聞きすることなどを通じて平和を尊重する心や態度を育成することは重要であると認識しております。

このため、教育委員会といたしましては、総合的な探究の時間や特別活動などで被爆証言を聞き、平和への思いや願いを深く理解し、平和な社会の構築をテーマとして探究活動を行っている学校の事例を他の学校に紹介しているところでございます。

また、教育委員会では、被爆80年を契機とし、全県から集まった高校生を対象に8月から約半年間、平和をテーマとする探究プログラムを実施することとしており、その中で参加生徒が戦争体験などを聞く活動を取り入れ、平和についてより深く考える機会の拡充に努めてまいります。